

## 2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月10日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8008 URL <https://yondoshi.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）増田 英紀  
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役常務執行役員財務担当 （氏名）西村 政彦 （TEL）03-5719-3295  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	15,659	61.5	549	1.3	621	△5.2	422	△19.6
2025年2月期第1四半期	9,693	1.1	542	△25.5	655	△22.9	525	4.6

（注）包括利益 2026年2月期第1四半期 261百万円（△64.9％） 2025年2月期第1四半期 744百万円（53.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	19.69	—
2025年2月期第1四半期	24.52	—

（参考）のれん償却前営業利益 2026年2月期第1四半期 861百万円 2025年2月期第1四半期 666百万円  
 当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年2月期第1四半期	68,414	38,317	56.0	1,783.34
2025年2月期	66,494	38,935	58.5	1,812.89

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 38,297百万円 2025年2月期 38,915百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	41.50	—	41.50	83.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	41.50	—	41.50	83.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	32,000	64.4	1,200	43.6	1,400	33.5	700	4.2	32.61
通期	66,000	43.8	2,800	42.8	3,150	33.9	1,600	16.2	74.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期132円72銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	24,331,356株	2025年2月期	24,331,356株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	2,856,534株	2025年2月期	2,865,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	21,466,031株	2025年2月期1Q	21,453,450株

(注) 自己株式数については、当四半期連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式141,909株を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調となりましたが、米国の通商政策の影響や地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、一部では個人消費に持ち直しの兆しがみられるものの、円高傾向や世界的な景気後退への懸念によるインバウンド需要の減少、継続的な物価上昇の影響による節約志向の高まりもあり、消費者マインドの回復に向けては不安要素が残りました。

このような状況のなか、当社グループは、第7次中期経営計画の2年目となる2026年2月期におきまして、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、顧客提供価値の向上と将来の成長基盤の構築に向けた施策を着実に推進しております。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向け、サステナブル経営の実践、内部統制機能の強化、株主への利益還元、中長期的な利益成長につながる投資の実行を通じて、企業価値の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、前期株式取得により子会社化した榊羅針の業績が加わったことにより、売上高156億59百万円（前年同期比61.5%増）、営業利益5億49百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益6億21百万円（前年同期比5.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億22百万円（前年同期比19.6%減）と、5期連続増収、2期ぶりの営業利益増益となりました。なお、四半期純利益は保有有価証券の売却による特別利益が前年同期を下回った事等により5期ぶりの減益となりました。また、重要な経営指標として定めている「のれん償却前営業利益」は8億61百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （ブランド事業）

ジュエリーSPA事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、「4℃」ブランドを中心に、女性顧客層のさらなる拡大を目指し、商品開発および販促戦略の見直しに継続して取り組んでおります。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける榊羅針では、商品ラインアップの充実と新宿店の出店効果により、売上高が堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は92億20百万円（前年同期比162.6%増）、営業利益は3億95百万円（前年同期比58.8%増）と増収、増益となりました。

#### （アパレル事業）

デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、新規店舗の出店および既存店舗の伸長により、売上高が拡大しております。

また、アスティグループにおいては、海外生産体制と企画提案力という自社の強みを活かし、主要取引先への新たな提案活動を推進した結果、売上高・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は64億39百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は4億23百万円（前年同期比4.1%増）と、増収、増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、商品及び製品が17億68百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して19億19百万円増加し、684億14百万円となりました。負債は主に、短期借入金が17億円、支払手形及び買掛金が7億61百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して25億37百万円増加し、300億96百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末と比較して6億18百万円減少し、383億17百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,708	1,308
受取手形及び売掛金	2,926	3,893
商品及び製品	14,127	15,896
仕掛品	110	5
原材料及び貯蔵品	336	178
その他	736	1,185
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	19,939	22,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,045	4,016
土地	5,839	5,839
その他（純額）	383	372
有形固定資産合計	10,267	10,228
無形固定資産		
のれん	8,553	8,305
顧客関連資産	1,107	1,066
技術関連資産	439	416
その他	466	442
無形固定資産合計	10,567	10,231
投資その他の資産		
投資有価証券	21,475	21,218
退職給付に係る資産	449	457
その他	3,841	3,864
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	25,719	25,493
固定資産合計	46,555	45,954
資産合計	66,494	68,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	2,719
電子記録債務	340	606
短期借入金	4,900	6,600
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	748	398
賞与引当金	226	315
役員賞与引当金	11	15
ポイント引当金	50	49
資産除去債務	93	65
その他	1,975	2,166
流動負債合計	12,305	14,937
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
役員株式給付引当金	282	280
退職給付に係る負債	437	437
資産除去債務	913	915
その他	5,620	5,525
固定負債合計	15,253	15,159
負債合計	27,559	30,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	7,170	7,170
利益剰余金	30,153	29,679
自己株式	△6,104	△6,087
株主資本合計	33,706	33,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,601	5,452
繰延ヘッジ損益	△20	△40
土地再評価差額金	△233	△233
退職給付に係る調整累計額	△138	△130
その他の包括利益累計額合計	5,208	5,047
新株予約権	20	20
純資産合計	38,935	38,317
負債純資産合計	66,494	68,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
売上高	9,693	15,659
売上原価	5,028	10,336
売上総利益	4,665	5,323
販売費及び一般管理費	4,122	4,773
営業利益	542	549
営業外収益		
受取利息	35	37
受取配当金	66	61
為替差益	4	1
その他	7	9
営業外収益合計	113	110
営業外費用		
支払利息	0	37
その他	0	1
営業外費用合計	0	38
経常利益	655	621
特別利益		
投資有価証券売却益	340	100
特別利益合計	340	100
特別損失		
減損損失	32	1
店舗閉鎖損失	4	0
建物解体費用	100	—
特別損失合計	137	2
税金等調整前四半期純利益	858	720
法人税等	332	297
四半期純利益	525	422
親会社株主に帰属する四半期純利益	525	422

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	525	422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	△148
繰延ヘッジ損益	3	△19
退職給付に係る調整額	5	7
その他の包括利益合計	218	△160
四半期包括利益	744	261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	744	261



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	159百万円	234百万円
のれんの償却額	124	248

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	3,492	5,976	9,469	—	9,469
その他の収益(注) 3	18	205	223	—	223
外部顧客への売上高	3,511	6,182	9,693	—	9,693
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	44	44	△44	—
計	3,511	6,226	9,738	△44	9,693
セグメント利益	249	406	655	△113	542

(注) 1 セグメント利益の調整額△113百万円は、のれん償却額△124百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115百万円、セグメント間取引消去額126百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき重要な事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	9,202	6,228	15,430	—	15,430
その他の収益(注) 3	18	210	229	—	229
外部顧客への売上高	9,220	6,439	15,659	—	15,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	43	43	△43	—
計	9,220	6,482	15,703	△43	15,659
セグメント利益	395	423	819	△269	549

(注) 1 セグメント利益の調整額△269百万円は、のれん償却額△248百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110百万円、セグメント間取引消去額88百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。